

平成30年7月

定例教育委員会会議録

十日町市教育委員会

平成30年7月定例教育委員会会議録

- 1 開催日時、会場
平成30年7月24日（火） 13時30分～15時10分
川西庁舎 4階 第1研修室
- 2 出席
蔵品泰治教育長、吉楽隆一委員、庭野三省委員、佐藤美佐子委員、浅田公子委員
- 3 説明のため出席した者
子育て教育部長（樋口幸宏）、文化スポーツ部長（富井敏）、教育総務課長（長谷川芳子）、学校教育課長（山岸一朗）、指導管理主事（山本平生）、生涯学習課長（鈴木規宰）、文化財課長（佐野誠市）、スポーツ振興課長（井川純宏）
- 4 報告事項
 - ・共催・後援等報告
 - ・報告第1号 平成30年度NRT学力検査に基づく学力状況について
- 5 議決事項
 - ・議案第1号 平成31年度小中学校教科用図書採択について
- 6 その他
 - ・クロアチアウィーク関連事業について
 - ・十日町市立学校の空調（エアコン）設置状況について
 - ・十日町市立学校のブロック塀の状況について
 - ・十日町市学区適性化検討委員会について
 - (1) 最近の動きについて
 - ・教育長、各部長、各課長
 - (2) 8月の主な行事予定について
 - (3) 次回の教育委員会の開催日時
- 7 会議の内容
 - (1) 6月定例会会議録の承認
署名委員：浅田委員、庭野委員
 - (2) 会議録署名委員の指名
署名委員：庭野委員、吉楽委員
 - (3) 報告事項
 - ① 共催・後援等報告
 - ・別紙のとおり
 - （特に質疑等なく了承された）
 - ② 報告第1号 平成30年度NRT学力検査に基づく学力状況について
蔵品教育長
 - ・事務局の説明を求めた。

山岸学校教育課長

- 資料に基づき説明

蔵品教育長

- 数学と英語について、学力向上専門監が配置され、今英語で2年目となる。その前の2年間は数学であった。その学力向上専門監による成果があったと思う。意見、質問があれば願います。

吉楽委員

- 小学校1・2年生に学力定着が難しいとあるが、どう捉えているか。

山岸学校教育課長

- 小学校2年生の成績が、年々下がってきている。1年生、2年生で学習に落ち着きがない傾向があり、成績に現れているかも知れない。低学年の子どもたちについて、スタートで下がっているとそのまま下がって行って、中学生では50を下回るかも知れないと危惧している。

吉楽委員

- 1・2年生の授業風景は、勉強が面白いと思うような授業の効果が、将来的には必要。テストに着目すると、国語において学力の定着が難しくなっていることが、低学年全体に見られることであると思うが、数字のデータから個別の科目が予想より厳しい結果になっているものは何か。

山岸学校教育課長

- 科目ごとについては、今手元に資料がない。

庭野委員

- この結果について、校長会では話をしているのか。

山岸学校教育課長

- 校長会では伝えているが、校長がどう捉えているかはわからない。

庭野委員

- 1・2年生の学習指導は大変だろうが、本当はどうなのかということを話題にしてはどうか。1・2年の指導をどうするかは大事である。

吉楽委員

- 数学の専門監から2年間の指導があって、学力が上がっているということだが、その支援がそこで終わっているということは、その逆の現象が起こる可能性があるのではないか。その計画についてはどうなっているか。

山岸学校教育課長

- 中学校においては、先生方が校内外で研究や意見交換する機会が少なかった。小規模校では、数学の担当が1人しか居ない、若く経験が少ないなどの状況であった。専門監が入ってからは、市内の学校の数学の先生が月1回集まって切磋琢磨

し、刺激し合うことが非常に有効であったと思う。

吉楽委員

- 子どもたちの力より指導する先生の力によって、学校間で学力の差が出てくる可能性があるのか。

山岸学校教育課長

- 学校を越えてお互い刺激し合うことが良い成果となって、数学については学力が上がってきたのではないかと捉えている。専門監が居た頃と全く同じようにはできないが、教育センターが継続して研修を続けている。

佐藤委員

- 中学校に入り教科によって先生が分かれて、専門的になって成績が上がってもいいと思うのに、中学校では成績が下がっているのを見ると先生の影響が大きいと思う。教科の先生が1人の学校も多いので、刺激し合って指導して欲しいと思う。

山岸学校教育課長

- 数学の専門監が入ってきて、それを見て他の教科の先生たちが刺激を受けて、意識が大分変わってきている。NRTはどういう訳か学年が上がると成績が下がってくるということが、自分が勤務してきた他の学校でも見られる。

山本指導管理主事

- 学力向上専門監は新潟県の施策で配置され、毎月1回教科の担当者会議を開き、学習深度を各学校で確認し合えたことが大きい。指導法の情報交換により、学校間の指導における格差を縮めることに成功している。この制度は、もともと秋田県で学力向上専門監を配置して、各地域の核となる先生がその地域の先生をリードする体制を執ってきた。予算的な問題で恒常的に配置できないが、核となる先生を育成して、秋田県では進めている。新潟県でも国語の担当者会議を6月に実施して、指導法や作品の解釈など若い経験の浅い教師が、相互に意識し合うことで良い方向に向かっている。忙しくて大変だが回数を増やすと良いと思う。
- NRTの結果について、全校平均的な偏差値50は、都市部、山間部、大規模校、中規模校、小規模校の中から抽出して、サンプルテストを行いこの値を出していると聞いている。この値について、どの程度信頼性があるのか検証する必要があると思う。中学生で50を割り込む教科については、都市部の新潟、長岡、上越等では50を比較的維持しているが、十日町市や魚沼地域や下越北部では成績が下がる。都市部と山間部の因果関係があるのかどうかは分析できないが、生徒数の絶対数により格差が大きくなっていると予測される。もうひとつは、都市部では競争が維持されており、学習に対する関心が高いと感じる。
- 小学1年生の難しさは、就学前の段階で就学に支障をきたすような子どもがいるという話を聞いている。

庭野委員

- 都市部と農村部では、ひとつに学習塾の存在が大きいと思う。この地域では期待できないので、学校が頑張る必要がある。
- 自己有用感という言葉が、子どもに解りやすい言葉がないのか。自分で今自己有

用感がある状態と自覚できるような。日々の授業づくりの視点がポイントであり、日々の授業でどうなっているか。学校視察の際の教師を見ると、自己有用感を満たすような教師の態度ではない。子どもが何かできたときの褒め言葉が非常に少ない。自己有用感を高めるといには、教師がまず認めてやることが大事。フォローしてやって、意欲を高めてやることが新潟県では下手である。やる気のある子はいいが、そうでない子は沈んでいる。どの子も引き上げるというフォローをやらないと自己有用感を高めるまでにはなかなかいかない。ぜひ日々の授業の視点について具体化を進めて欲しい。

浅田委員

- 中学生の保護者から聞いた話で、期末テストが終わり思うような点数ではなかったため、頑張るって机に向かうがなかなか出来ない。寺子屋塾もあるが、曜日と時間が決まっていって参加できない子もいる。朝活など授業が始まる前に集まって補習などできないか。意欲はあるけれどできない子のフォローをお願いしたい。

山岸学校教育課長

- 今は先生方の多忙化が言われており、子どもたちの授業も余裕がない中で、寺子屋塾や夏休みの補習など学校も精一杯やっていると思うが、その効果という面で不十分なこともあると思う。先生方が学校の中で、新しく枠を設けるのは時間的に難しいと思う。

吉楽委員

- 必要な基礎学力があって高校進学という状態なのか。偏差値50という線を上回ってれば、授業についていけるのかどうか。偏差値50以上を目標として見ていいものなのか。

山岸学校教育課長

- 偏差値50を基準にしているものではないと思う。

山本指導管理主事

- 高等学校の学習に対応できるかどうかについて、NRT学力検査あるいは文科省の学力調査も制度設計されてはいない。中学校で教えるべき基礎的な基本的な内容が、十分に身に付いているかどうかという観点から見ると、NRTではおよそ平均点60点で作られている。なかなか100点は取れないという内容であり、全国の平均で偏差値50というところなら、およそ中学校で学習すべき基本的な内容については習得していると評価できるという形で制度設計されている。中学校の学力が付いている子たちは、高校でも授業に付いていけるはずだと解釈している。

庭野委員

- 文化庁は、「縄文」をテーマにした高校生ニッポン文化大使を募集している。応募に当たっては、縄文についてのレポート提出が求められるとともに、自己アピールや表現力を選考するシートがある。学力も数値を上げなくてはならないとは思いますが、大学入試も変わろうとしており、偏差値50だけの時代ではない。自己アピールできる子どもに育てなくてはいけないのに、十日町市は津南中等教育学校の子どもに比べると表現力を伸ばしているという印象が感じられない。校長会

でも話題にして欲しい。

(以上の質疑のあと了承された)

8 議決事項

(1) 議案第1号 平成31年度小中学校教科用図書採択について

- ・(十日町市教育委員会会議規則第24条ただし書きに基づき)本議案についての審議を秘密会とし、最後に審議する旨発議。

(全員了承)

9 その他

- ・クロアチアウィーク関連事業について
- ・十日町市立学校の空調(エアコン)設置状況について
- ・十日町市立学校のブロック塀の状況について
- ・十日町市学区適性化検討委員会について

(1) 最近の動きについて

- ・教育長、部長、各課長等が資料に基づき説明

(2) 8月の主な行事予定について

- ・資料に基づき説明

(3) 次回の教育委員会の開催日時

8月定例教育委員会 8月24日(金)13時30分から開催することに決定した。

-----議案第1号平成31年度小学校教科用図書採択について(秘密会)-----
(十日町市教育委員会会議規則第30条の規定により秘密会の議事は、会議録に記載しない)

以上で、15時10分に蔵品教育長が閉会を宣言した。

以上の会議録に誤りがないことを認め、ここに署名する。

会議録署名委員

会議録署名委員

会 議 書 記